

2026年度 第31回長久手市「子供の日」中日旗争奪少年野球大会 申合せ事項

1 試合時間及びイニング数について

- (1) **決勝戦以外は、1時間20分又は6イニングとする。**それで勝敗が決まらない場合はジャンケンとする。
- (2) 決勝戦は6イニングとし、勝敗が決まらない場合は、タイブレーク方式(ワンアウト満塁、打者4番から)により実施する。

2 コールドゲーム及び試合の成立について

- (1) 4イニング終了後、7点以上の差がついた場合は、コールドゲームが成立する。
- (2) 4イニング終了後、悪天候等で試合続行が不可能と審判が判断した場合は、コールドゲームが成立する。ただし、同点の場合は、ジャンケンにより勝敗を決定する。

3 審判員について

審判は2審制により、長久手市スポーツ協会野球部審判部が行う。

4 試合の中止、グラウンドの整備について

- (1) 当日の試合の中止については、午前7時までに主催者から各チームへ連絡する。
- (2) グラウンド整備は、試合を行った各チームが責任を持って行う。

5 監督、コーチの服装及び選手について

- (1) ベンチに入る監督、コーチは、ユニホームを着用すること。
- (2) 選手は、両耳ガード付のヘルメットを打者及び走者の時には必ず着用すること。
- (3) 捕手は、プロテクター、ヘルメット等の安全具を必ず着用すること。
- (4) 可能な限り選手はベンチ入りすること。また、監督及びコーチは3名、代表、マネージャー及びスコアラー3名までベンチ入りできる。原則として、それ以上のベンチ入りは、認めない。

6 投球について

投手の変化球は認めない。投球はボールとする。

7 バッターがサイン確認する際の注意点

バッターはバッターボックス内で片足を外し(軸足は残す)、サインの確認を行う。

万が一、両足を外しサインを確認した場合は警告対象とし、各選手1試合3回警告を受けた際には1ストライクとしてカウントする。

8 ファウルボールについて

- (1) 1塁側に止まったものは1塁側のチームが拾う。
- (2) 3塁側に止まったものは3塁側のチームが拾う。
- (3) 捕手の後方に止まったものは攻撃側のチームが拾う。

9 抗議について

抗議はルールに関する確認は認めるが、ジャッジに関しては一切認めない。

10 その他

- (1) 子供達の技術練磨も大切であるが、少年野球本来の目的をもって試合中の罵声及び悪口は慎み相手の好プレーに拍手ができるよう指導すること。
- (2) 救急医療処置は各チームに於いて行い、主催者及び運営委員は事故による責任を一切負わない。
- (3) 各チームは、スポーツ安全協会の保険に加入すること。
- (4) 公認野球規則並びに全日本軟式野球連盟特別規則を適用する。
- (5) 試合球はマルエスボールJ球を使用する。(大会主催者側で準備します)

【補記：時間経過による試合の成立について】

<ケース①>

チーム	1	2	3	4	5	6	7	計
A	2	3	2	2				9
B	3	2	1					6

(Aチームがリード、4回表に1時間30分が経過した場合)

- ・4回の裏の攻撃まで行い、均等回完了をもってゲームの成立とする(時間が経過しているため)

<ケース②>

チーム	1	2	3	4	5	6	7	計
A	0	0	2	0	1			3
B	0	0	2	2				4

(Bチームがリード、5回裏のBチーム攻撃中に1時間30分が経過した場合)

- ・1時間30分を経過した時点で試合終了となるが、そのときの打者の打撃中にその旨を両チームに通告しこの打者が打撃を完了した時点で試合終了とする。